

富士市中学校部活動ガイドライン【概要版】

1. はじめに

改定の経緯

市教育委員会では、平成30年7月に「富士市中学校部活動ガイドライン」を策定し、各学校で本ガイドラインの遵守を推進してきました。

このような中、令和4年12月に国から、学校部活動の維持が困難になる前に、まずは休日の部活動から地域の環境整備を着実に推進し、平日については、できるところから取り組む等の方針が示され、本市でも、部活動の地域連携・地域移行を進めていくにあたり、令和5年度には、富士市部活動地域移行検討懇話会を立ち上げ、学校部活動に代わる地域の受け皿づくりの在り方について検討しています。

学校部活動についても引き続き改革が求められていることから、富士市部活動ガイドラインを改定しました。

部活動の教育的価値

部活動は、学校教育の一環として行われています。顧問をはじめとした関係者の指導のもと、生徒同士が同じ目標に向かって取り組むことで、豊かな人間関係を築くなど、心身ともに健全な育成を図ることができる大変有意義な活動です。

また、部活動を通して、生涯にわたりスポーツや文化及び科学等に親しむ態度等を育成したり、生徒の自主性や協調性、責任感、連帯感を養ったりすることができます。

このように、部活動には様々な教育的効果があり、明るく充実した学校生活を送る上で大きな役割を果たしています。

近年の課題

＜社会的な変化に伴う課題＞

- ・少子化による生徒数の減少に伴う部員数の減少
- ・専門的な指導力を持った顧問の不足
- ・生徒の負担感の増大
- ・教職員の多忙化等

学校部活動の教育的価値を大切にしながら、時代や社会の流れに合った、これからの部活動の在り方についての見直しや部活動に代わる地域の受け皿づくりの在り方を検討し、関係者の協力を得ながら、部活動の地域連携、地域クラブ等への移行に向けての課題を調整し、生徒が多様なスポーツや文化活動等に親しむための体制づくりを進めていく必要があります。

部活動の所属

部活動への加入を希望制とするよう体制を整備します。

- ・部活動への入部希望がない、または外部クラブ等のみでの活動に専念したい生徒は、部活動に入部しなくてもよい。
- ・生徒から希望があった場合には、部活動と外部クラブ等の両方に所属できるように配慮する。
- ・学校外の地域クラブ・教室等への部員の参加については、希望者のみの加入となるよう配慮する。

2. 部活動運営・指導体制の確立

部活動運営体制の確立

○各学校は、組織的かつ計画的に部活動を実施するための組織を設置します。

＜例＞・校内部活動検討委員会
（管理職、顧問代表等）
・校内部活動顧問者会
（顧問、養護教諭等）
・校内部活動部長会
（各部活動の代表生徒、生徒会等）
・部活動保護者説明会
（保護者と顧問、指導者等）

事故やけが、緊急時に備えた体制

- 各学校は、日頃から活動中における事故防止に向けた指導体制を整え、生徒の安全確保に努めます。万が一、事故が発生した場合、各学校の「危機管理マニュアル」等に基づき、組織で速やかに対応に当たります。
- 夏季における活動は、気象庁や環境省が発表する情報や暑さ指数等の情報（熱中症警戒アラート）に十分留意し、気温・湿度などの環境条件を配慮した活動を実施し、あらかじめ気温や湿度の上昇が予想される場合は、富士市小中学校熱中症予防対策ガイドラインを参考に、活動の中止や活動時間の短縮等について管理職や養護教諭と検討し決定します。

生徒が自立して主体的に取り組む力の育成

- 顧問及び指導者は、限られた時間の中で、効率的で集中力の持続できる練習の工夫に努め、生徒一人ひとりの長所を伸ばす前向きな指導を心がけます。
- 顧問及び指導者は、部活動内における生徒一人ひとりの役割を明確にし、生徒の自己肯定感が高まるように支援します。
- 生徒が主体となり、練習や試合に対する取組状況を振り返り、今後の方向性を考えるなどの部内ミーティングを、顧問が立ち会う中で定期的に行います。



練習方法の工夫・体罰等の禁止

- 顧問や指導者は、生徒の発達段階を考慮するとともに、オーバーワークや過負荷によるスポーツ障害、燃え尽き症候群等を考慮して、練習内容や量を工夫します。
- 顧問や指導者は、生徒の人権を侵害するような発言や行為は許されないことを認識し、体罰やハラスメントと判断される発言や行為を絶対にしないという姿勢で、生徒を指導します。
- 生徒が体調不良を教職員に言えるよう、普段から声掛けを行うとともに、生徒自らが体調管理等を行うことができるよう、帽子の着用や水分補給、体調不良時の対応に関する適切な指導を行います。

計画的な活動スケジュールの設定

- 顧問は、年間活動計画を立て、生徒及び保護者に対して十分周知します。また、月別指導計画を作成し、前月中に生徒及び保護者に周知します。
- 顧問は、生徒の心身の発達段階や現在の部活動の実態に応じた活動計画や目標設定をします。

3. 部活動の設置と活動時間及び休養日の設定

部活動の設置

各学校は、生徒の安全を確保し、適切に部活動を実施するために、指導体制の整備を図ります。
下記の1、2、3のいずれかの要件が満たされない場合については、次年度に向けて、該当する部の改廃（統合、休部、廃部）について校内部活動検討委員会等で協議します。その際、部活動の地域連携・地域移行の進捗状況も考慮します。

【部活動の設置についての留意事項】

- 1 団体競技については、1年生の正式入部が決定した時点で、全学年の部員数が団体競技（コンクール等）に出場できる人数が確保されている。
- 2 重大な事故につながりやすい競技の部活動において競技の性質上、生徒の安全確保を行うため、以下の条件を満たしている。
 - (1) 安全に競技を実施するための施設、設備、環境等が確保されている。
 - (2) 専門的な知識・技能をもった指導者又は外部指導者を配置する。
 - (3) 複数顧問を配置する。
- 3 学校の規模にもよるが、どの部にも複数の顧問や指導者を配置することを原則とする。

活動時間及び休養日の設定

【授業期間中の活動】

●平日

- ・少なくとも、週に1日以上休養日を設ける。
- ・活動時間は、長くとも2時間程度とする。

●週休日（学校の休業日）

- ・少なくとも、1日以上を休養日とする。
- ・活動時間は、3時間程度を原則とする。
- ・公式戦等で、やむを得ず土日両方に活動するような場合は、休養日を平日に確保する。
- ・練習試合等で、やむを得ず活動時間が基準を超える場合、校長の承認を受ける。
- ・防災訓練等や地域の行事と重なった場合できる限り行事を優先する。

【長期休業中の活動】

- ・活動は平日のみとする。ただし、各競技団体等が主催する公式戦が休日に行われる場合は、生徒には平日に代替休養日を設定する。
- ・活動時間は、長くとも3時間程度を原則とする。
- ・家庭でのまとまった休養日がとれるよう配慮する。
※定期テスト前後の一定期間については、原則として活動を行わない。

【練習試合等について】

練習試合等においては、保護者の送迎や生徒の負担、交通事故の危険がないよう、市内を中心とした、近隣の市町に留める。基本的に、県外への遠征は認めない。

【公式戦とは】

公式戦とは、中体連、中文連、各協会、各連盟が主催する大会のことを指す。

4. 今後の取組について

部活動支援のための制度の活用	大会数の削減について	部活動地域移行に向けての準備に対する協力
部活動地域移行がなされるまでの間は、積極的に地域と連携して活動を行うことで、教員の負担軽減や指導の専門性の担保をしていく必要がある。具体的には、部活動指導員及び外部指導者を積極的に配置します。 ○部活動指導員 教員に代わって単独で指導（引率も含む）できる指導者。当該競技種目等の指導に精通しているだけでなく、教育に関する理解が深い人物が望ましい（教員の不在時は単独で指導をするため）。校長が面接等を行った後に選考し、学校教育課で任用する。 ○外部指導者 教員（特に技術面）の指導の補佐役として、外部指導者を配置することができる（外部指導者が単独で、部活動の指導や生徒の引率を行うことはできない）。当該競技種目等の指導に精通している候補者に、校長が面接等を行い、指導者として適切であると認めた人物に依頼する。	各競技団体等主催の大会が相当数存在し、週休日や祝日に開催されることも多い実情があることから、各部における年間の大会やコンクール等の参加状況について継続的に調査し、各競技団体等に対して現状の把握とともに、大会等の統廃合を含めた大会の数や実施方法、開催時期の見直しを要請します。 また、各競技団体や地域住民、生徒、保護者の理解を得ながら、学校単位の部活動に代わる、各競技団体主催の合同練習やクリニック、体験会等の活動機会の設定について要請します。	学校は、各競技団体等が主催する部活動地域移行に向けての取組（合同練習やクリニック、体験会等）、または中学生対象の※<u>地域クラブ</u>の指導者育成研修等をはじめとした事業に対する会場の提供に積極的に協力します。 また、各競技団体等が主催する部活動地域移行に向けての取組（合同練習やクリニック、体験会等）、もしくは中学生対象の地域クラブ等の活動内容について、生徒及び保護者に積極的に提供し、生徒が自分自身の興味関心に応じて、自分にふさわしい活動を選べたり、多様な経験ができたりするように体制の構築を進めます。 ※ 地域クラブ活動・・・＜現段階での定義＞部活動の地域移行または中学生の多様な活動機会の確保に向けた、中学生の受け皿となる団体や個人が実施する文化芸術・スポーツ活動。